

2019年度 日本文化人類学会 第3回理事会 議事録

日時：2019年7月20日（土）14：00～18：00

場所：首都大学東京秋葉原サテライト（ダイビル12階）会議室C

<出席理事>清水展、石田慎一郎、伊藤泰信、亀井伸孝、川田牧人、木村周平、栗田博之、
窪田幸子、森田敦郎

<出席監事>関根康正

<委任状提出理事>赤堀雅幸、綾部真雄、飯田卓、石井美保、風間計博、佐々木重洋、
曾我亨、高倉浩樹、棚橋訓、中谷文美、速水洋子、松村圭一郎、森山工、箭内匡

〔承認事項〕

1. 第2回理事会議事録（案）について承認。
2. 新入会員13名につき、業務執行理事で入会を承認したことを報告し、事後承認。

〔報告事項〕

1. 代表理事報告
 - ・東北大学での研究大会および定時社員総会の実施について報告。社員総会議事録は署名者に確認中であることを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・第28期理事の任期について確認。来年4月以降の具体的な理事会の開催スケジュール等は検討中であることを報告。
 - ・第9回三島海雲学術賞の学会推薦候補者の受付が締め切られたこと、担当委員会において選考の上、推薦を行うことを報告。
3. 総務理事報告
 - ・人類学関連学会協議会(CARA)合同シンポジウムの実施について報告。
 - ・11月9日に関西大学で開催予定の公開シンポジウムについて、科学研究費補助金（研究成果公開促進費）（成果公开发表B）の交付決定通知が届いたことを報告。
4. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき7件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
5. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：欠席の綾部理事に代わり伊藤理事より、84巻2号以降の進捗状況を報告。
 - ・JRCA編集委員会：欠席の佐々木理事に代わり木村理事より、Vol.20-1の進捗状況を報告。
 - ・「国際情報発信強化」特別委員会：窪田理事より、台湾文化人類学会へ清水代表理事、窪田理事、亀井理事、中空萌会員を派遣予定であることを報告。今年度の科研費「国際情報発信強化」事業として国際研究集会発表助成の応募者選考を行い、採択者を決定したことを報告。本件については採択結果をHPへ掲載することを確認。
 - ・課題研究懇談会担当委員会：栗田理事より、各課題研究懇談会の開催スケジュールを

報告。委員長の森田理事を中心に、今後の方向性について意見交換を行い、課題研究懇談会事業自体の継続の可否について審議する必要があることを確認。

- ・研究発表査読委員会：欠席の高倉理事に代わり木村理事より、発表要旨のフォーマットの変更を検討中であることを報告。
 - ・研究大会実施委員会：木村理事より、第53回研究大会の決算報告を作成中であること、発表要旨のJ-STAGEへのアップロード作業を今後進めていく予定であること、第54回研究大会の準備状況について報告。
 - ・地区研究懇談会：栗田理事より、各地区研究懇談会の開催スケジュールを報告。
 - ・倫理委員会：亀井理事より、アイヌ研究に関する研究倫理委員会への本学会の参加と「アイヌ民族に関する研究についての研究倫理指針」案について社員総会で報告したこと、現在のアイヌ研究に関する研究倫理委員会の進捗状況について報告。
 - ・医療者向け人類学教育連携委員会：伊藤理事より、7月13日に東京医科大学でワークショップ「医師とともに考える医学生向け人類学教育ワークショップ—医師養成のフィールドに文化人類学の種を蒔く」を開催したこと、ワークショップにおける医療関係者とのやりとりの中で、医学部のカリキュラム上のニーズに合った形での授業が求められるということが明らかになったこと、今後も医療関係者と協力して活動を続けていくことを報告。
 - ・植松東アジア研究基金委員会：石田理事より、今年度採択した3件について助成金の送金が完了したことを報告。うち1件は大学院生であったため、直接管理となったこと、いずれも間接経費は徴収されなかったことを報告。
6. 日本学術会議 文化人類学関係分科会報告：学術会議会員の窪田理事より、各分科会の活動や検討中の提言の内容について報告。
 7. 窪田理事より、アイヌの遺骨と副葬品の取り扱いと研究への利用に関するラウンドテーブルにおいて、シンポジウムの開催（2020年1月26日於法政大学市ヶ谷キャンパス）を計画中であることを報告。

〔審議事項〕

1. 過去の議事録の修正について
 - ・木村庶務理事より、これまで「総務会」として議事録に記録してきた文言について、2019年4月1日以降は定款上の表現に倣い、「業務執行理事」を使用することが提案され、審議の結果、承認された。なお、2019年4月以降、既に監事及び代表理事による確認済みの議事録については、該当部分を修正した議事録案の再確認を依頼することとした。
2. 法人化に伴う各種規程について（代議員選挙および理事選出規則）
 - ・木村庶務理事より、代議員選挙規則の原案が提示され、意見交換の結果、継続審議とすることとした。
 - ・川田総務理事より、理事選出規則の原案が提案され、意見交換の結果、継続審議とすることとした。
3. 2019年度事業計画について
 - ・木村庶務理事より、2019年度事業計画について文言の修正が提案され、審議の結果、承認された。
4. 代議員選挙管理委員の委嘱について

- ・木村庶務理事より、第 29 回評議員（代議員）選挙管理委員会の立ち上げと委員の委嘱について説明があり、業務執行理事に一任することが承認された。
- 5. 寄稿規程等の改定について
 - ・『文化人類学』編集委員の伊藤理事より、寄稿規定について近年の投稿の状況に即し大幅な変更を行うことが提案され、「査読付き」の範囲や JRCA との連携等について意見が出され、委員会で引き続き検討の上、後日改めて改定案を提示することとした。
- 6. 学会歴史委員会インタビュー映像の再公開について
 - ・欠席の飯田学会歴史委員会委員長に代わり木村庶務理事より、江上波夫氏のインタビュー映像について、遺族から会員への公開は問題ないとの回答があったことに伴い、会員への公開を再開することが提案され、審議の結果、承認された。再公開までの経緯については、事務局で記録を保管することとした。
- 7. GEAHSS 関連シンポジウムについて
 - ・欠席の中谷担当理事に代わり窪田理事より、来年度の研究大会で学会主催のシンポジウムとして GEAHSS 関連のシンポジウムを開催することについて計画の説明があり、意見交換の結果、継続審議とすることとした。
- 8. 朝日賞について
 - ・木村庶務理事より、2019 年度朝日賞の候補者推薦依頼を受けたことが報告され、審議の結果、学会推薦を行うことが承認された。候補者については、業務執行理事の原案が承認された。
- 9. 委員会の構成に関する提案
 - ・川田総務理事より、前回までの意見を反映した委員構成案が提示され、審議の結果、代議員の委員への積極的な登用を含めた最終案を次回理事会で提示し、審議することとした。
- 10. 全国大学院生協議会よりアンケートの JASCA-INFO 配信について
 - ・木村庶務理事より、全国大学院生協議会からアンケートの周知及び回答依頼があったことが報告され、JASCA-INFO で配信することが承認された。配信文案は木村庶務理事が作成することとした。
- 11. その他
 - ・窪田「国際情報発信強化」特別委員会委員長より、6 月に委員会を開催し、科研費の中間評価の結果について対策を話し合い、現在の事業の進捗状況を確認したこと、来年度新規の申請を行うには問題点が多く、学会の活動を国際的に開いていくことにも課題が多いため、来年度の科研申請は行わないとの結論に達したことが報告され、意見交換の結果、次回理事会で再度審議を行うこととした。
 - ・木村庶務理事より、「東日本大震災の被災会員に対する 2011 年度会費徴収特例措置」及び「熊本地震の被災会員に対する 2016 年度会費徴収特例措置」について説明の上、2019 年度の特例措置延長について提案があり、審議の結果、承認された。それぞれ 2011 年、2016 年に定めた特例措置を、被災会員の申請がなくなるまで毎年延長することを確認した。
 - ・監事が出席できない理事会では、事後に理事会の審議内容について監事の確認を得ることが承認された。
 - ・第 4 回理事会は 10 月 5 日（土）14:00～開催予定、於首都大学東京秋葉原サテライト。

以上